

令和4年度 指定管理施設検証結果報告書

PLAN	施設名	甲州市大和福祉センター			検証日	令和5年7月3日	
	所管課担当名	子育て・福祉推進課 福祉推進担当		課長名	志村 裕喜	作成者名	雨宮 明日香
	指定管理者	名称	株式会社 やさしい手府				
		代表者	代表取締役社長 根津 宏次				
		所在地	山梨県甲府市上石田1丁目7番地14号				
		指定期間	平成31年(2019年)4月 ~ 令和6年(2024年)3月				
	管理施設の概要	施設所在地	山梨県甲州市大和町田野77番地				
		設置目的	市民の健康と福祉の増進を図るため、甲州市福祉センターを設置する。(甲州市福祉センター設置及び管理条例 第1条)				
		利用者	甲州市内および市外の利用者	施設管理体制	3名	開館日時間等	9:30 ~ 16:30 (日曜・祝日・月曜日・年末年始・臨時休館を除く)
	事業概要	サービス提供の内容					
指定管理業務		(1) 福祉センターの利用申請の受付及び利用許可等に関すること (5) 施設の維持、管理及び修繕(大規模な修繕は除く) (2) 福祉センター使用料徴収事務に関すること (6) 備品等の維持、管理及び修理 (3) 施設利用にあたってのサービス、指導等に関すること (7) その他施設の管理に関すること (4) その他日常業務					
自主事業	(1) 施設利用者へ回数券の販売 ・市内10枚綴り2枚分無料利用券を付加 ・市外10枚綴り1枚分無料利用券を付加 ・甲州市民(山梨市民含む)の障害者 10枚綴り3枚分の無料利用券を付加 ・市民以外の障害者 10枚綴り2枚分の無料利用券を付加 (2) 自動販売機の設置						

管理運営コスト推移(千円)		令和元年度 (指定期間1年目)	令和2年度 (指定期間2年目)	令和3年度 (指定期間3年目)	令和4年度 (指定期間4年目)	令和5年度 (指定期間5年目)
予算	指定管理料	12,029	11,831	12,169	11,951	
	利用料金収入	1,140	1,000	800	800	
	その他収入	24	12	12	12	
管理運営経費		13,193	12,843	12,981	12,763	
決算	指定管理料	12,029	11,831	12,169	11,951	
	利用料金収入	726	310	342	484	
	その他収入	11	105	9	8	
	管理運営経費	13,033	11,005	12,735	15,507	
収支		-267	1,241	-215	-3,064	
施設の稼働状況		令和元年度 (指定期間1年目)	令和2年度 (指定期間2年目)	令和3年度 (指定期間3年目)	令和4年度 (指定期間4年目)	令和5年度 (指定期間5年目)
指標	開館日数(日)	229	210	222	246	
	利用者数(人)	1,368	588	699	930	
活動結果		・令和4年11月25日の露天風呂のお湯からレジオネラ属菌が検出されたため、露天風呂のみ休止とし、峡東保健所指導のもと、入浴施設自主管理マニュアルの改訂及び管理業務見直しを行ったことにより、令和5年2月16日から露天風呂を再開させることができた。 ・貯水槽・貯湯槽洗浄など温泉機器の洗浄や点検、エレベーター点検修理等を実施した。				

CHECK	評価観点	評価 (5 4 3 2 1) 高 → 低	評価の説明
(2) 施設の維持管理	3	施設設備については、定期的に保守点検を実施し機能保持に努めている。令和4年度にレジオネラ属菌が発生したが、峡東保健所の指導のもと既存の自主管理マニュアルの改善を行い、対応に努めた。	
(3) 収入支出	2	施設の老朽化に伴う修繕費が増加しているが、日々の点検による早期発見により、大規模修繕にならないよう努力をしている。電気料・燃料費については、物価高騰により、事業計画額及び前年支出を大幅に超過しており、その分が全体のマイナス収支の要因となっている。温泉施設という性質上、電気・燃料の使用量を大幅に減らして経費削減をするのは難しい現状はあるものの、他の経費の更なる経費削減と収入確保等が必要である。	
(4) 総合評価	総合評価の説明(施設所管課による一次評価)		
	優良 良好 妥当 要改善 不適	要改善	協定書のとおり適正に事業が実施されている。新型コロナウイルス感染症対策を講じて、施設運営を行った。 施設の老朽化が見られるなかでこまめな清掃、修繕、点検など施設維持に努めており、適正な管理運営ができています。 露天風呂でレジオネラ属菌が検出されてしまったが、峡東保健所に指導を仰ぎ既存のマニュアルの改定を行うなど、真摯に対応した。 新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響はあるが、更なる経費削減と収入確保が必要である。

ACTION	評価結果に対する施設所管課の対応	
	当面の課題	・新型コロナウイルス感染症については、5類に移行したため、様子を見ながら利用制限の解除等考慮する必要がある。 ・令和4年度の利用者数は前年度よりは増加したが、目標には達しない状況である。 ・温泉制御盤の老朽化が進んでおり、いつ使用できなくなるかわからない状況となっている。 ・レジオネラ属菌が検出されないよう、日々の清掃、管理を徹底する。
課題解決への対応	・塩素濃度の管理、浴槽・配管の洗浄について見直した自主管理マニュアルを遵守し、レジオネラ属菌の発生防止に努める。 ・令和5年度末をもって、甲州市公共施設等総合管理計画に基づき大和福祉センターは廃止とする。 ・廃止になるまでは、適切に施設が使用できるように、維持管理していく。	

二次評価(公共施設活用等検討委員会での総括意見)

・仕様書及び協定書のとおり、管理運営を行っているが、依然として利用者数が少ない上に、市民の利用率もあまり高くない状況である。
 ・施設の利用料金収入も少ない中で、甲州市大和サービスセンターと一体的に施設管理を行う中で、経費削減に努めているが、新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響も受けたことにより、収支は大きく損失が出ているため、更なる経費削減と収入確保に努めていただきたい。
 ・施設は老朽化しているが、令和5年度末の廃止までは、適切な管理運営をしていただきたい。